

令和元年度 鹿背山城なんでも知ろう

連続講座 第1回・城の講演会

① 演題：『鹿背山城を造った興福寺とは如何なる寺か』

中世城郭鹿背山城は、松永弾正久秀が築城したかのように思っている方は多いが、松永が城主となった時期は長くても最後の13年位であろう。

築城したのは武士ではなく興福寺である。なぜ寺が築城したのかその理由を検討し、地域の概況や興福寺の組織との関係を解説します。

講師：岩井照芳氏（当会々長）

② 演題：『鹿背山城に拘わる松永久秀、木津執行、足利義昭、

最後は信長しかない』

松永弾正久秀は河内から大和に攻め入って直ぐ大和のほぼ全域を平定。相楽郡も軍門に下る。このとき、鹿背山城を手に入れたと考えられる。続いて久秀は足利13代将軍義輝を殺す。義輝の弟が興福寺一乗院の院主覚慶である。

覚慶は身の危険を感じ大和から逃げ、信長の助けを借りて京都に上り15代将軍義昭になる。相楽郡でただ一人の興福寺衆徒（僧）であり、木津を治める武士でもある木津氏は元覚慶の配下である。また、鹿背山城を破城したのは信長？しか考えられない。戦国の世はこの地域でも複雑な人間模様であった。

講師：岩井照芳氏（当会々長）

日時：令和元年10月6日（日）開場13:00 開演13:30～17:00

場所：中央交流会館 研修室（いづみホール） ☎0774-72-8800

参加費：無料 定員：70名（先着順）

問合せ先：☎0774-72-0014 岩井まで

主催：木津の文化財と緑を守る会

後援：本町東地域